

人権

～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.529 「カタル」って大事！

益 城町地域共生センター「カタル」が4

月1日にオープンしました。「カタル」という愛称には、熊本弁の「参加する」という意味と、「語り合う」という2つの意味が込められています。

この施設は、町公民館、男女共同参画センター、地域ふれあい交流館の3つの機能を併せ持っています。また、年齢・性別・国籍にかかわらず全ての人たちがここで学び合い交流することで、人と人、人と地域を結び、地域の活力となつてゆく施設を目指しています。

さて、皆さんは地域の中で、「カタル」ことができていますか。

令和6年10月に総務省が実施した調査によると、「地域での付き合いをどの程度しているか」という問いに対し、「付き合いをしている」と回答した人の割合は54%でした。これは、10年前の同調査での68%と比較すると、減少傾向を示しています。

この調査結果から、地域における人々の交流が減少し、人間関係の希薄化が進んでいることが分かります。

確かに、現代社会では地域との関わりが以前

ほど不可欠ではなくなっています。しかし、自ら進んで「カタル」ことを心掛けないと、周囲の人々との関わりが失われ、孤立してしまう恐れがあります。一人一人が「カタル」ことを意識し、積極的に交流することで、多くのつながりが生まれます。そのつながりが広がることにより、人と人との絆が深まり、地域社会での孤立を防ぎ、誰一人取り残されない社会を作ることが可能になります。

地域共生センター「カタル」は、このような社会づくりの一端を担うために誕生しました。皆さんも、気軽に「カタル」を訪れ、語り、学び合い、交流の場を広げてみませんか。



町役場仮設庁舎跡地に建設された地域共生センター「カタル」。地域の人々もそうでない人も、ぜひこの施設に立ち寄ってください！



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

安全×安心

◆交通安全ワンポイント

道路の横断は正しく安全に

歩行者と自動車との交通事故のうち、歩行者の死亡事故の約7割は道路横断中に発生したものです。自動車の運転者だけでなく、歩行者も注意して、道路横断のルール・マナーを必ず守りましょう。

■意外と知らない道路横断のルール・マナー

- ・付近に横断歩道がある場合は、必ず横断歩道を利用してください。
- ・自動車は道路を通過する直前・直後に道路を渡るのは大変危険です。また、バスやトラックの後から道路を渡ることも、運転者の死角に入り込み、気付かれない可能性があります。
- ・道路は斜めに渡らず、真っすぐ最短距離で渡りましょう。
- ・夕方・夜間は歩行者が思っている以上に運転者から見えません。明るい服装や、反射材・ライトの活用を心掛けましょう。



◆防火と救急

ガソリンの取り扱いに注意！

ガソリンは自動車の燃料に使われるなど、私たちの日常生活において、なくてはならないエネルギーです。しかし、ガソリンは消防法上の「危険物」に該当し、過去の事件・事故により、その取り扱いの規制強化が行われています。ガソリン携行缶などの貯蔵・取り扱いについて、今一度確認をお願いします。

■ガソリンの保管について

- ・セルフスタンドで利用者自らがガソリンを容器に入れることは厳禁です。
- ・ガソリンを容器に入れて保管する場合は、必ず消防法令に適合した金属製携行缶などを使用してください。
- ・ガソリンを保管する場合、必要最低限の量とし、火の気がなく、温度変化が少なく、安全な場所に保管してください。



図 益城西原消防署 ☎ 286・2119

令和7年 町内の火災等発生状況

発生区分	4月中	累計
建物	0	3
車両	0	0
林野	0	0
その他	0	0
警戒出動	1	6
救急出動	152	628
救助出動	1	3

投稿は①氏名(PNの場合はふりがなも)②住所③電話番号④作品を明記し、

メール(mashiki890@gmail.com)、はがきで役場広報係に送ってください。締切は毎月10日(必着)。

益城の文芸

短歌

初夏を花びらしっとり輝り映えて池のほとりの黄の花あやめ 安永 守住 孝子
吹く風を受けて散りゆく肥後椿咲を待つ 花肥後菖蒲 馬水 増田 訓子
青い空ヒバリはどこへ隠れたか囁きだけが光となりて 木山 赤城 香織
湯宿にて語らう姉妹宵いしれて雨と湯けむりで墨絵の世界 広崎 日野ヒロ子
この季節寒暖差には身にこたえ一杯のお茶温まる 広崎 辻 恵美子
寂しさに歩いてみれば子供供らと五月の風に背中小されて 広崎 大原 郁
断捨離で質素となりし部屋のなか新婚とうじに帰る心地す 惣領 垣野 幸一
耕運機蓮華花咲く畠を打つ麦わら帽に夏の陽注ぐ 惣領 甲斐 道夫
掘り出して皮むきゆがいて友くれし今夜のご馳走筍三昧 木山 本田 龍子
年老いて自まんのひとつ丈夫な歯縁無き虫歯美味しい食事 赤井 増岡 伸禧
※末武先生は都合により、選歌をお休みしています。

俳句川柳 小春選

県道に連なる車春夕焼 木山 鎌田 隆子
矢車草見上ぐる先の鯉のぼり 木山 本田 龍子
堆肥する緋木瓜に話しかけながら 古閑 今村 恒心
どくだみの根強さ習う庭手入れ 広崎 大原 郁
躑躅咲くお茶休憩は縁側で 惣領 阪口由美子
箸持てばどんと居する初鰯 安永 福山 友子
花終へし鎮守の杜の楠若葉 惣領 野宮 逸吉
年老いぬ何かにつけて「ありがと」 小池 滝川美智子
登園の孫とつなぐ手嬉しいな 広崎 辻 恵美子
猫跨ぎ元手も取れぬ釣果かな 赤井 増岡 酔粋
物価高もう年金では追いつかぬ 惣領 野々口トミ子